

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：平成 31年 2月 1 日

公表：平成31年3月

事業所名 キッズサポートセンター千兵衛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	建物の国の基準1人当たり2.47㎡を満たしています。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	国の最低基準を守り、保育士や児童指導員等の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	支援者会議にて利用者さん個々の計画に対して目標の確認、振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	毎回アンケートを参考に、支援の見直しをさせて頂いています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	自己評価の結果はHPにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	苦情受付の第三者委員は外部の方をお願いしていますが、事業評価等を外部の方をお願いすることはしていません。役員会で報告をあげ、助言等ももらっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	年に2回は研修の機会を設け、支援力向上に努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	保護者や相談員とともにアセスメント実施し、現状の課題を見極め計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	障害特性に特化したアセスメントシートを活用し個々の特徴の把握に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	常勤スタッフが組み立てたものをベースに、非常勤職員に意見をいただき組み立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	いろいろな経験ができるよう、年齢や個々の特性に合ったプログラムを提供しています。今後も子どもの成長・発達段階を踏まえ、個々に必要な経験を提供できるよう考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	一日の予定表を作成し、この中で個別に対応しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	個別の時間・グループの活動時間を組み合わせサービスを提供しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	一日の予定表を作成し、目的や目標の確認を行ってから受け入れを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	7	勤務時間などから全員での終礼は行えないが、翌日の利用前等に個別で話し合いを行ったり、支援者会議などですり合わせを行っています。常勤スタッフは13：30～朝礼として前日の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	日々の様子を支援日報に記録し、個々の様子を振り返り、検証・改善に努めています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	母と面談を定期的に行い(3か月・6か月)計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0	個別支援計画に載せずに取り組んでいた部分もありましたが、個別支援計画の書式を見直し、今後すべての項目を明記していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	学校送迎時に情報共有を行う。また、年間カレンダーを事業所でも確認し下校時間の確認等行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	現在医療的ケアのお子様の受け入れは行っていません。個々の主治医は把握しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	7	直接保育所とのやり取りはしていませんが、相談員を通じての情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	高校3年生で卒業される方、就職される方を対象に、学校、相談員、就職先、母と会議で共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	蒲郡市においては児童発達支援センターはH31.4～開所予定となっています。相談員、センター、市役所等と連携しています。研修案内は全職員と共有してます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	児童館には遊びに行くが交流活動は行っていません。年に2回地域の子供との交流会を開催しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	法人全体として各ワーキンググループに参加しており、放課後等デイサービスに関してはこども部会を中心に必要な時に管理者または職員1名が参加しています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	子どもの施設での様子を伝達し、現在行っているサービスの内容等もその都度説明を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	7	ペアレント・トレーニングは有資格者がいないため別の形で実施。交流会や勉強会を定期的に開催してます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時説明を行っている。活動別にかかる負担額はその都度口頭や書面にてお知らせしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	その都度時間を作り面談を行い、子供の成長について一緒に考え、施設のできることや、今後の目標などの話し合いを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	保護者同士の交流の場となるように年に2回開催を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	支援の不具合や、アドバイスなどお聞きしたことを即座に解決できるような体制を整え対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	会報誌や施設のお便りを月に1回発行して情報を配信しています。

守	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵のついた棚にて厳重に管理を行っています。また、会議資料等もインシタルで表記することで個人名を特定できないよう配慮しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	子どもに伝わるよう視覚でわかりやすく伝達するなど、個々に合った手法を用い伝達するよう努力しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	イベントや、地域の方が利用できるよう開放日を設けたり、遊びに来やすい仕掛けを考え提供しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	緊急時・感染症などは周知していますが、防犯対策についてはマニュアル化されておらず、子供が活動内で防犯訓練を受けるなどの伝達しかできていないため、整備していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年に2回非常災害に備え訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	年に1回全職員研修を受け、話し合いを行うことで、虐待防止の意識を高めています。ヒヤリハットやついらっと（ついイラっとすること）なども話し合い、不適切な支援につながらないようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	必要な方は保護者、職員等で話し合いを行った後、放課後等デイサービス計画に記載を行い万が一の場合に備えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	7	アレルギーを持っている子供が今のところいないが対応できるよう話し合っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	支援者会議にて全拠点のヒヤリハット報告書を共有し再発防止に努めています。	